



## 坂東市と提携して 小学校向けオリジナル英語教材を提供

TBSテレビのこども英語プロジェクト「CatChat(キャットチャット)」([www.tbs.co.jp/catchat/](http://www.tbs.co.jp/catchat/))の英語コンテンツが、茨城県・坂東市(市長:吉原英一、人口 56,524 人)の小学校全校(13 校、小学生 3,274 人)の音声教材として採用されることになった。

「CatChat」は、グローバル化に伴い英語教育の重要性が増すことを見据え、TBS テレビが 2000 年に立ち上げ、ウェブ、新聞連載、書籍化、知育玩具展開などを経てテレビ番組化、DVD 教材販売などへと発展させたこども向け英語プロジェクト。現在は、BS-TBS でレギュラー放送中(毎週日曜あさ 10:30-11:00)、キッズステーション、米国ハワイの CATV 局などでも定期的に放送されているほか、毎日小学生新聞の紙面でも連載(毎週土曜日)している。



この度の音声教材は、「CatChat」のテレビ番組の人気コーナーから抽出した内容を、坂東市の小学校での活用方法に合わせて全くオリジナルに再編したもの。約 5 分の音声教材を 5 パターン収録した CD を、13 校分提供する。TBS テレビの新井麻希アナウンサーが“英語のお姉さん”として、伊藤隆佑アナウンサーが“英語にチャレンジするお兄さん”として出演している。教材は 4 月後半から坂東市の全小学校で約 2 年間使用される予定。

坂東市では、「豊かな教育」を施策として掲げ、市長の発案により平成 22 年度より子どもたちが日常的に英語に自然に触れられる環境をつくる準備をしているなか、校内放送で活用できる英語音声教材として TBS テレビの「CatChat」が教育委員会の目に止まった。数ある英語教材の中で「CatChat」が選ばれた理由は、「テレビ局らしい楽しい演出と、日本語と英語の違いに焦点を当てた日本の子どもたちのために徹底的に開発された英語学習法」(坂東市教育委員会 田邊淳次教育長)とのことで、民間放送局と学校現場の珍しいコラボレーションが実現することになった。

来年度からの外国語活動の必修化を控えた全国の小学校約 22 万校では、既に様々な取り組みが行われており、TBS テレビでは今後も放送局の特色を活かした魅力的な教育コンテンツを開発・提供していく予定。また、キッズ応援プロジェクト「ブーブ★キッズ」([www.tbs.co.jp/kids/](http://www.tbs.co.jp/kids/))、メディアリテラシー学習を目的とした「インターアクセス・プロジェクト」([www.tbs.co.jp/inter-access/](http://www.tbs.co.jp/inter-access/))など、次世代を創造する子どもたちに向けた様々な取り組みも継続していく。

以上